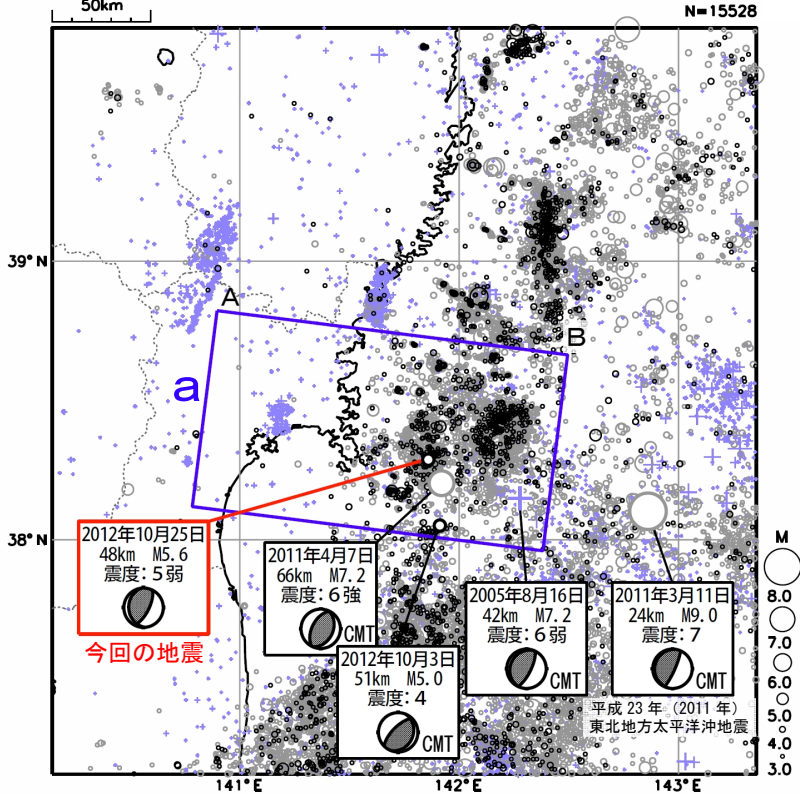


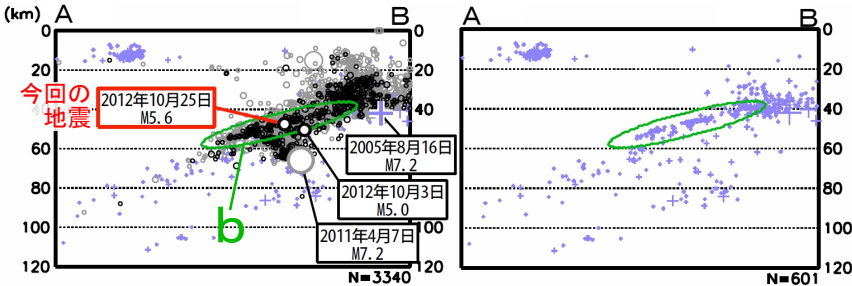
# 10月25日 宮城県沖の地震

震央分布図\*

(1997年10月1日～2012年10月31日、深さ0～120km、 $M \geq 3.0$ )  
 東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+、東北地方太平洋沖地震以降に発生した地震を薄い○、2011年11月以降に発生した地震を濃い○で表示

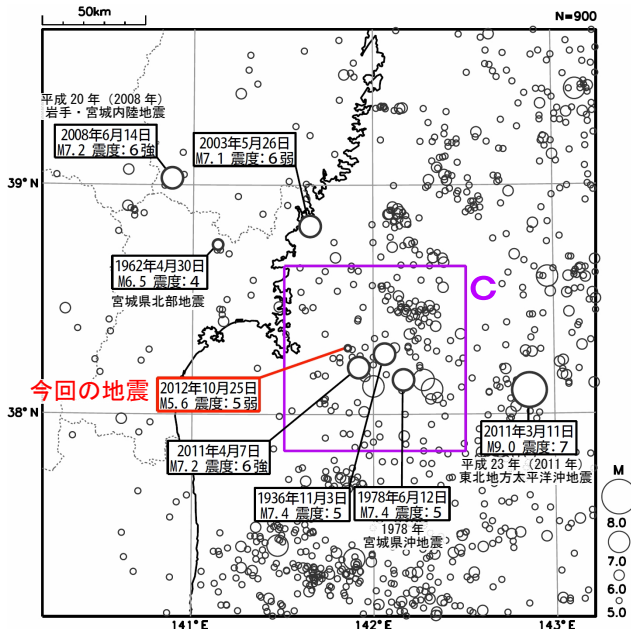


領域 a 内の断面図\* (A-B 投影) (参考) 東北地方太平洋沖地震の発生前



震央分布図

(1923年1月1日～2012年10月31日、深さ0～200km、 $M \geq 5.0$ )

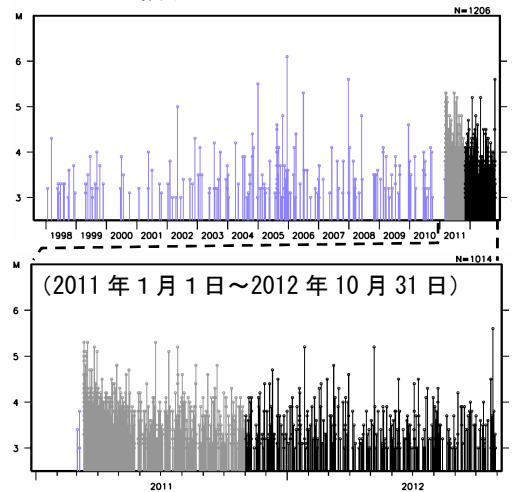


2012年10月25日19時32分に宮城県沖の深さ48kmでM5.6の地震(最大震度5弱)が発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。

1997年10月以降の活動を見ると、2011年3月11日の「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」の発生前、今回の地震の震源付近(領域b)では、M5.0以上の地震が時々発生していた。東北地方太平洋沖地震の発生以降は地震活動がそれまでよりも活発化し、これまでにM5.0以上の地震が今回の地震も含めて15回発生している。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、「1978年宮城県沖地震」(M7.4、最大震度5)など、M7.0を超える地震がいくつか発生している。

領域 b 内の M-T 図\*



\* 2011年3月13日～5月30日に未処理のデータがある。

領域 c 内の M-T 図

